

視聴覚教育

NO 197

発行日
5. 11. 2発行
岡崎市AVL編集
広報委員会

講演会での

機器利用に学ぶ

現職教育視聴覚部長 中山昌司

本校(六名小学校)では、PTAを対象として年に二回、教育講演会を行っている。六月、両親学級のなかで講演会をもった。今年の講演会は、岡崎子供の本研究会の霜田美津子さんをお招きすることができた。

「心の栄養を求めてー子供と見つめよう未来の夢を」と題しての講演だった。子供の本であっても、大人にも教えられるものが多くあり、まさに心の栄養を求めて子供とともに読むことの大切さを教えられ、大変印象深い講話であった。

この講演の中でとくに教えられたことは、内容自体はもちろんであるが、実際の本の内容を映像を通して聴衆に読み聞かせをされたことである。大人からみれば、本を見ただけでは、「なんだ、子供の絵本か」と思われがちな本を、液晶ビジョンを使い、教材提示装置によって解説を入れたの読み聞かせで、聴く者みんなが絵本の世

界に入っていく雰囲気になり、つい、時間の経つのも忘れるほどだった。

子供の本の中にはすばらしい内容をもったものがあるといっても、言葉だけでは理解されにくい。実物を大きく映し出すことによって聴衆を引き付け、内容を伝えようとすると手法は、大人相手であっても大変有効であることを痛感した。

視聴覚機器の利用の効果は今改めて言うまでもない。私たち教師は、日ごろ教室で必要に応じて視聴覚機器によって指導の効果をあげてきている。特に最近、新しい機器の普及で、ややもすると機器に振り回されてしまったり、操作が分からずに、宝の持ち腐れになってしまっていたりすることもある。「授業は教師の話術だけでできるんだ」という人もいるだろう。しかし、映像を中心とした情報化の時代に浸かってしまった子供たちの実態を考えると、視聴覚機器を有効に活用できる教師であるに越したことはない。

機器アレルギーだからといって使わずにいるのではなく、使うことによってその有効性に気づくことができ。そのきっかけをつくるのが、効果的な機器利用の場の体験である。

子供を相手にした授業の時だけでなく、大人を相手にした場でも、新しい視聴覚機器が積極的に使われているというところで、認識を新たにさせられた。



図工の導入でビデオを活用

愛宕小学校 内藤法雄

暗幕の引かれた視聴覚室。先生は何を見せてくれるんだろう。今か今かと期待に胸をふくらませている一年生の子供たち。本校で十月中旬に行われた、図工の授業での一コマである。

チャイムが鳴り授業が始まる。H先生の「さあ、これからビデオを見せてあげるからしっかりと見るんだよ。」

のことに、

「早く見たい。」

「先生、どんなビデオ。」

子供たちの期待はますます高まっていく。

四台のテレビから映像が映し出される。

スピーカーからは、画面を盛り上げる無

気味な音楽。

「こわい！」

「わあ、すごい。」

「ひゃあー。」

画面を見ながら、子供たちは口々に叫く。中には画面を指さす子もいる。

おかざきつ子展の作品で竜作りをする最初の授業である。こわい顔のイメージを持たせるためにビデオを視聴させたが、子供たちは教師の期待通り個々に感じ取っていたようである。これから先の作品が期待される。



ライブラリースタディ

☆寄贈ビデオ紹介

☆寄贈ビデオ紹介
・ 大学紹介ビデオライブラリー ①東海大学②同志社大学③立教大学④立命館大学⑤龍谷大学⑥関西大学⑦明治大学⑧大阪学院大学⑨千葉商科大学⑩神田外語大学⑪東京薬科大学⑫日本社会事業大学⑬追手門学院大学各30分
寄贈ビデオの貸し出しを希望される方は、直接ライブラリーまでご連絡ください。

☆新規購入16ミリ映画紹介

・ 生命をみつめる 35分 家庭教育

医療機関の関係者たちがロールプレイにより、とかくタブー化されがちな、死を直視することの重要性を訴えた作品です。死について考えるさまざまな立場の人たちによってイマジネーションを膨らませ、生きることの大切さに気付かせてくれます。

☆貸出用機器紹介

・ デジタルAVミキサー

ワイプ、2画面のオーバー

ラップ、ペイントなど多彩な

映像の特殊効果が可能です。

発表会やビデオ編集など、幅

広い活用ができます。

その他にも多くの視聴覚教材・機器があります。利用を希望される方はライブラリーへご連絡ください。

